

愛犬用の備蓄品と、持ち出す際の優先順位の例

優先順位 1 【愛犬の健康・命に関わるもの】

- 療法食、薬
- ペットフード、水（少なくとも5日分）
- キャリーバッグ、ケージ
- 首輪・リード（伸びないもの）
- ペットシート
- 排せつ物の処理用具
- 食器

指定避難所等にはペット用の食糧等の備蓄はありません！



優先順位 2 【情報】

- ペットの防災手帳（犬編）

優先順位 3 【ペット用品】

- タオル、ブラシ
- ウェットタオルや清浄綿
- ビニール袋
- お気に入りのおもちゃ
- ガムテープ・マジック

令和4年7月発行 発行：京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課 京都市印刷物第044243号

ペットの防災手帳（犬編）

指定避難所等に犬用の備蓄は無く、犬の受入場所は屋外が多いワン。飼い主さんの備えだけが頼りだワン。



京都動物愛護センターマスコットキャラクター 京（きょう）ちゃん

災害時に、愛犬と一緒に避難するためには、**犬の飼い主さん御自身による日頃からの準備**が重要です。この手帳に愛犬の情報をあらかじめ記入しておき、災害時にいつでも持ち出せるようにしましょう。



京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



「犬猫のマイクログ」のマイクログ登録機に登録した際は必ず飼い主情報・愛犬情報を環境大臣指定登録機に登録してください。

- 避妊去勢措置
- 首輪・迷子札
- マイクロチップの装着
- 狂犬病予防注射やワクチン接種、寄生虫予防・駆除
- 基本的なしつけ（「待て」「お座り」など）をする
- 不必要に吠えないようにしつける
- ケージ等に入ることから慣らす

愛犬のしつけと健康管理

京都市内の指定避難所の多くはペットの受入場所が屋外になります。安全な自宅の上階や親戚や知人の家・施設への避難も検討ください。

- 関係性を作る
- 近所の人と顔の見える
- 家族内の連絡方法の確認
- (指定避難所におけるペットの受入など)
- 避難する場所・経路を確認
- 食糧等の備蓄品の準備
- 家具やケージの固定、転倒防止、落下防止
- ハザードマップで地域の危険性をチェック

まずは御自身の安全確保

平常時に飼い主が備えること

- 後でトラブルが生じないように、条件や費用などについての算書を取り交わすようにする

親戚や知人の家・施設等に預ける

- 長時間、車を離れる場合には愛犬を安全な場所に移動する
- 車内の温度に注意し、十分な飲み水を用意する

車中での飼養

- 自宅の安全確認をしたうえで、支援物資や情報を必要に応じて指定避難所等に取りに行く。

自宅での飼養

- 維持管理をする
- ペットスペースは飼い主同士が助け合って
- 飼い主が責任を持って世話をする
- 各指定避難所等で定めたルールに従って、
- 状況を京都市のホームページ等で確認する。

- 指定避難所等の開設
- 必ず飼い主自身で持ち参り
- 備えはありません。
- 指定避難所等には、ペット用の食料、備品等の備蓄はありません。

避難中の愛犬の飼養環境の確保

- リードを付け、狂犬病予防注射済票等の装着を確認
- 小型犬はキャリーバッグやケージに入れる

愛犬との同行避難（準備例）

災害発生時に飼い主が行うこと

